



串戸地区

土砂災害ハザードマップ

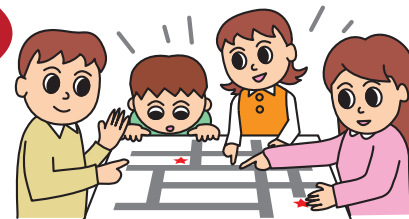
■土砂災害ハザードマップとは？

このハザードマップは、大雨による土砂災害を想定し地区のみなさと話し合いを重ねながら作成したものです。ハザードマップには、**災害危険箇所**、**指定緊急避難場所**、**避難時の注意箇所**などをまとめています。ご家庭などで指定緊急避難場所や避難ルートなどを確認し、早めの避難ができるよう備えておきましょう。

わが家の防災メモ

地図面で指定緊急避難場所や避難ルートなどを確認し、大切なことを書き込んでおきましょう！

まずは自宅を確認しましょう！



家族で決めておくこと

- 最寄りの指定緊急避難場所はどこですか？

指定緊急避難場所

- 家族の集合場所はどこですか？

集合場所

- 家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

氏 名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先 (携帯電話・学校・勤め先など)

知っておきたい連絡先

- 廿日市市の主な機関

機関名	電話番号
廿日市市役所	0829-20-0001 (代表)
そのほかにも重要な電話番号があれば書き込んでおきましょう！	

- 災害用伝言ダイヤル(171)

伝言を録音する

171 ▶ **1** ▶ 市外局番からの電話番号 ▶ **録音 30秒**

伝言を再生する

171 ▶ **2** ▶ 市外局番からの電話番号 ▶ **再生 30秒**

※伝言の録音・再生に必要な電話番号は、「被災地の方」は自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、「被災地以外の方」は連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤルしてください。

地域の連絡網

誰から さん 電話番号 から連絡があり、

誰へ さん 電話番号 へ連絡する。

声をかける人、注意が必要な人はいませんか？

すぐに持ち出せる所に保管して下さい。

防災情報を収集しよう！

⚠ 防災情報を集める手段は様々なものがあります。使いやすく、自分に合った手段を用いて早めに情報を取得し、身の安全の確保につなげてください。また、停電時にどのように情報を集めるかも考えておきましょう。



防災行政無線

避難情報、避難所開設情報、災害対策本部設置状況など、市内の防災情報や災害時における市役所の活動状況が放送されます。

放送内容が聞こえないときは…

防災行政無線テレホンサービス

防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます。



通話料無料
携帯・PHS OK

い こ ゃ はつか いち
0120-154-201



テレビ

■データ放送 (NHK広島放送局)

NHK広島放送局では以下の情報を確認できます。

- 土砂災害危険度情報
- 防災・生活情報
- 避難情報
- 雨量
- 河川水位

テレビリモコンのdボタンから必要な情報を入手！



インターネット

■広島県防災Web

広島県内のさまざまな防災情報を確認できます。

- 気象情報(警報・注意報)
- 観測情報(雨量・水位・潮位)
- 避難情報(避難所開設状況)
- 土砂災害危険度情報



ラジオ

■FMはつかいち緊急放送

「廿日市市」と「株式会社FMはつかいち」は災害時などにおける緊急放送協定を結んでおり、緊急情報は深夜や早朝の放送時間外でも放送されます。



メール

あらかじめ受信設定を行っている携帯電話・スマートフォンには、避難情報をはじめとする緊急情報が配信されます。

はつかいち安全・安心メール配信サービス

積極的に活用を！

登録された携帯電話やパソコンに災害情報などをメール配信するサービスです。緊急速報メールなどよりも詳細な情報が届きますので事前に登録をしておいてください。

- 1)登録用アドレスまたはQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

登録用アドレス bousai.hatsukaichi-city@raiden.ktaiwork.jp



QRコード読み取り機能搭載の携帯電話・スマートフォンの場合は、左のQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。

- 2)数分以内に、登録用URLが記載されたメールが届きますのでURLをクリックしてください。
- 3)必要な情報(災害・緊急情報、気象情報)を選択して「次へ」を押します。
- 4)入力内容を確認し「登録」を押します。数分以内に登録完了メールが届きます。

※登録・配信にかかる通信費用は利用者の負担となります。

※一部の携帯電話では、返信された登録用URLから接続できない場合があります。その際にはお手数ですが危機管理課(0829-30-9102)までお電話ください。

廿日市市公式LINE

ID:@hatsukaichicity

防災に関する緊急情報や新型コロナウイルス感染症に関する情報など、市政情報を発信します。



ひろしま避難誘導アプリ 避難所へGo!

避難情報の発令時、自分のいる現在地から開設中の最寄りの避難所へのルート案内を行います。



▲iPhone用 ▲Android用

安全に避難しよう！

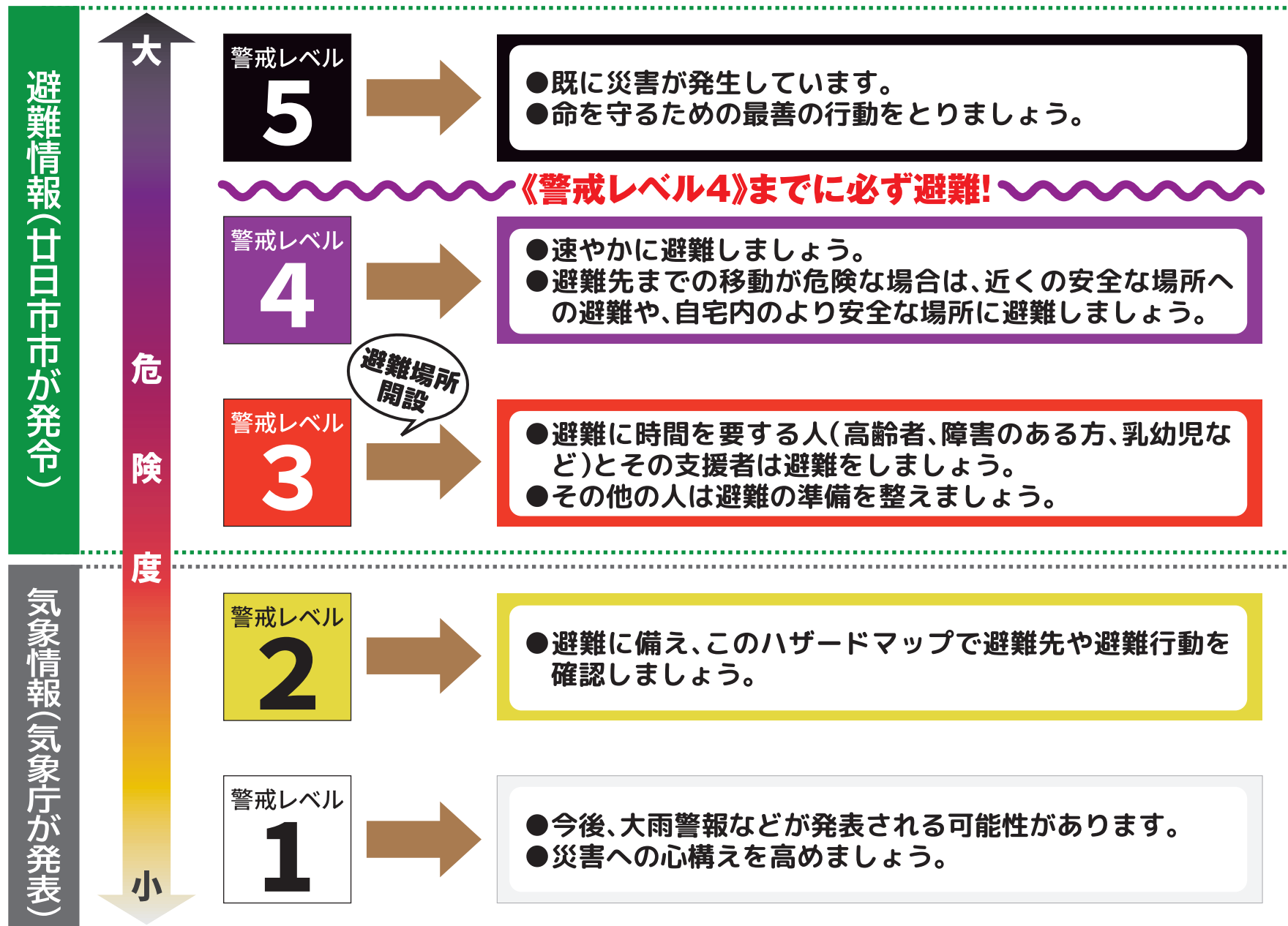
■避難行動とは？

- 指定緊急避難場所への移動
切迫した災害の危険がせまっている場合は、避難ルートを参考に速やかに避難してください。
- 安全な場所への移動
公園、親戚や友人の家などに移動してください。
- 近隣で鉄筋コンクリート等の強度が強く、高い建物への移動
- 建物内の安全な場所での待機
がけから離れた2階の部屋などで待機してください。



■警戒レベルと避難行動(とるべき行動)

気象庁が発表する気象情報、広島県が発表する土砂災害警戒情報を基に、廿日市市が土砂災害警戒区域など危険箇所を含む地区単位で避難情報を発令します。発令された警戒レベルにより、適切な避難行動をとります。



避難時の注意事項

天候や周辺状況の急変に注意！

避難中に雨の降り方や周辺状況が急変した場合は、近くの安全な場所で待機してください。

避難経路の路面状況に注意！

側溝やマンホールから水が溢れるなど、路面が泥水で浸水している場合があります。やむを得ず浸水箇所を通る場合は、長い棒を使い足元を確認しながら歩きましょう。

もしも土砂災害に遭遇したら・・・!?

がけ崩れの場合は斜面からできるだけ遠くに逃げましょう。土石流の場合は土砂の流れる方向に対して、直角に逃げましょう。



■事前に備えておくもの

避難時の服装

動きやすく肌を保護できる服を着用！

ヘルメットや防災頭巾で頭を保護！

軍手を着用！

履きなれた靴を着用！紐で締められる運動靴が理想的！



非常時持ち出し品

- 自分で背負うことのできる重さにしましょう。
- 離ればなれになったときのために、荷物は各自のリュックで準備しましょう。



食料品

※3日分が目安(できれば1週間分)

- 飲料水
- 缶詰
- レトルト食品
- 栄養補助食品
- アメ・チョコレート
- 保存食
- ()



衣料・生活用品

- 下着
- 靴下
- 軍手
- 着替え(上下)
- 防寒具
- 毛布
- タオル
- ラップ
- ティッシュ
- 懐中電灯
- マッチ・ろうそく・ライター
- 筆記用具・メモ帳
- 缶きり
- 充電器
- 予備電池
- ()



医療用品

- 常備薬
- 包帯
- ガーゼ
- 絆創膏
- お薬手帳
- 処方箋(名称:)
- ()



貴重品

- 現金(小銭も忘れずに)
- 預金通帳
- 保険証
- 印鑑
- 身分証
- ()
- ()

※ペット同伴で避難される方は、ペットケージやエサなどを忘れずに持ってきてください。



串戸地区

廿日市市
令和5年2月修正

土砂災害ハザードマップ

※このハザードマップは**大雨による土砂災害**を想定しています。日頃の防災活動にお役立てください。
※避難行動は「**警戒レベル3**」発令時を基本としてください。

緊急時の 連絡先

廿日市市役所：0829-20-0001（代表）

災害伝言 ダイヤル

伝言を録音する
伝言を再生する
171
「1」を選択し、ダイヤルし、音声メッセージに話かけてください。
「2」を選択し、再生します。

市外局番からの電話番号

「被災地の方」は自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、「被災地以外の方」は連絡を取りたい被災地の方の電話番号をダイヤル

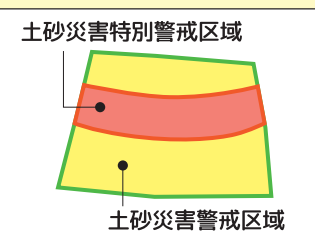
ハザードマップに関する お問い合わせ

廿日市市 総務部 危機管理課

住所：廿日市市下平良一丁目11-1
電話：0829-30-9102

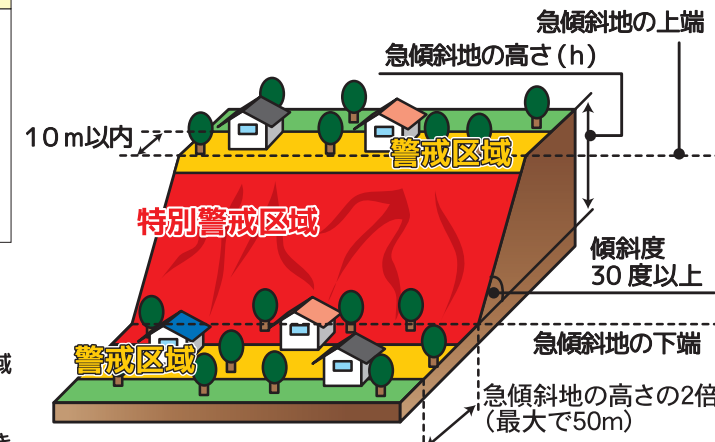
土砂災害の凡例

かけ崩れ



区域指定の基準

- 土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれがある区域
- 土砂災害特別警戒区域
建物が破壊され、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域



指定緊急避難場所の開設と注意事項

※「警戒レベル3」が発令された場合は、自宅周辺の災害危険箇所を確認した上で、指定緊急避難場所への移動や自宅での安全確保など、避難行動を開始してください。

「警戒レベル3」の 発令時は

市民センターから開設されます

※指定緊急避難場所などの開設は市民センターから行い、災害の規模に応じ小中学校などを開設していきます。
※指定緊急避難場所・指定避難所は災害の種別ごとに指定しています。各避難所の詳しい情報は、廿日市市ホームページをご確認ください。

注意 緊急の場合はマップ上の指定緊急避難場所などにとらわれず近くの安全な場所に避難してください。

指定緊急避難場所等の凡例



- 指定緊急避難場所とは、切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。
- 指定避難所とは、災害により自宅に戻ることができない場合などにおいて、一定期間避難生活をする施設です。
- 福祉避難所とは、高齢者や障がいのある人などのうち、特別の配慮を必要とする人が避難する施設です（健康者だけの避難はできません）。

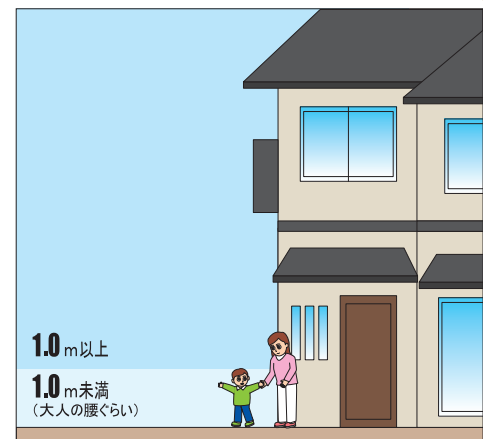
マーク等の凡例

防災行政無線	AEDを設置している指定緊急避難場所等	避難方向（がけから遠ざかる方向）
市役所	消防署	応援部隊の活動拠点
道路冠水危険箇所（地下道）	西広島バイパス	主要道路
地区境界	鉄道	

※廿日市消防署はAEDを救急車などに搭載しています。

河川浸水想定 区域の凡例

可愛川、御手洗川の浸水想定区域は、30年～50年に1回程度起こると想定される大雨が降った場合に、「堤防を越えて水が溢れる、堤防が決壊する」という予測に基づいた浸水状況をまとめたものです。



ハザードマップの使い方

STEP 1 自宅を見つけよう！
地図上で自宅を見つけ、自宅周辺のリスクを確認します。



STEP 2 避難先を考えよう！
避難場所の開設基準を確認し、安全な避難先を考えます。



STEP 3 避難方法を考えよう！
避難先までの移動手段、避難経路などを考えます。



過去に災害が発生した箇所

がけ崩れ

災害注意箇所

水が溢れやすい箇所

水が溜まりやすい箇所

通行注意箇所

※過去に災害が発生した箇所、災害注意箇所は、ハザードマップ作成時に、地区のみなさんから頂いた情報を基に表示しています。

※水が溜まりやすい箇所では、マンホールから水が噴きだしたり、マンホールのふたが外れてしまうことがあるため、注意が必要です。



廿日市市役所

ゆめタウン廿日市

可愛川



S=1:4,000

0 200 400 600m